

企業による風疹対策の必要性

大阪大学医学部附属病院 感染制御部

奥野 英雄

今、男性への風疹ワクチン接種が求められています

対象：1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性の皆様

風しん排除には——君たちの行動が必要なのさ

対象の男性はクイボン券を使って抗体検査と予防接種を受けようぜ

抗体検査を受けてないキミたちー！

風しんから、あなた自身と周りの人を守るためにあなたにできること

1. あなたが風しんへの抵抗力があるかチェックするため、抗体検査を受けましょう。
2. 風しんへの抵抗力が無いこと(抗体なし)がわかった場合、風しんへの抵抗力(免疫)をつけるため、予防接種を受けましょう。

厚生労働省
風しん 厚生労働省

#止めるぞ_風しん

対象：1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性の皆様
・無料抗体検査クーポンが届きましたら、健康診断の機会などで、**抗体検査**をお願いします

あなたが風しんに → あなたが苦しいだけでなく → 風しん 拡散 → 妊婦さん 感染 → 赤ちゃんが胎がいをもって生まれる可能性があります

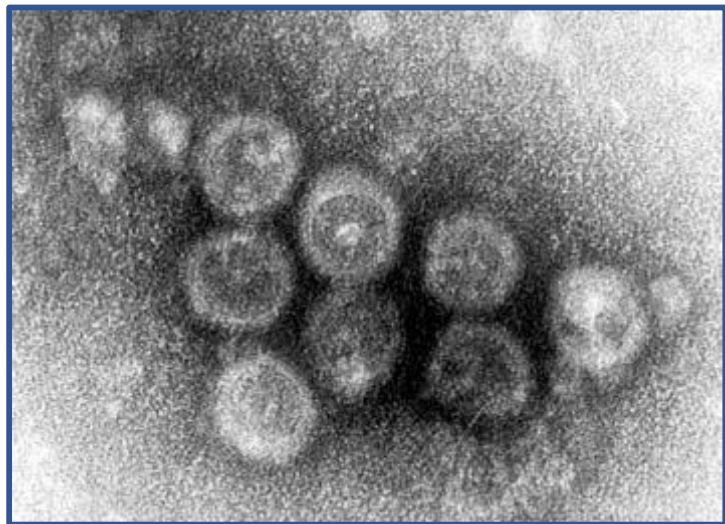
One for all.
ひとりみんなのために、
all for one

トライなんてさせない
タックルで止める

感染なんてさせない
ワクチンで止める

厚生労働省
風しん 厚生労働省

風疹とは？



3大症状

発熱（約50%）

発疹（ほっしん）

リンパ節腫脹

不顕性感染：15～30%

（感染しても症状がでないこと）

感染経路：咳、くしゃみ（飛沫）

予防方法：ワクチン



国立感染症研究所 HPより

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/rubella.html>

1人がかかっただけで・・・

免疫のない集団だと、感染力のある1人からこれだけの人数に感染させます

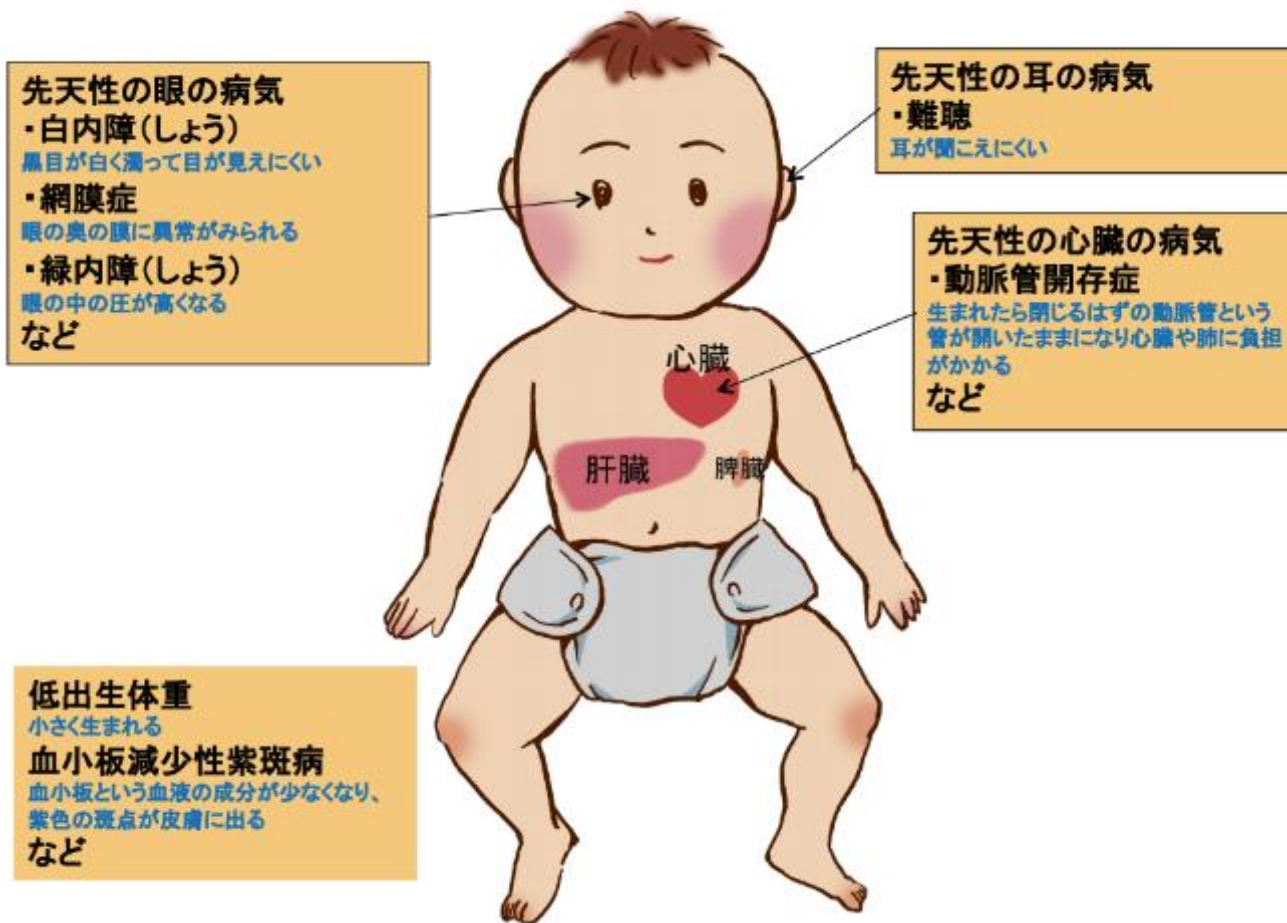
参照：Plotkin's Vaccines 7th edition

感染症	感染経路	基本再生産数 R_0
麻疹（はしか）	空気感染	12～18
水痘（水ぼうそう）	空気感染	8～10?
風疹（ふうしん）	飛沫感染	6～7
インフルエンザ	飛沫感染	1.4～4

風疹の感染力は強く、ワクチンが最大の予防手段です

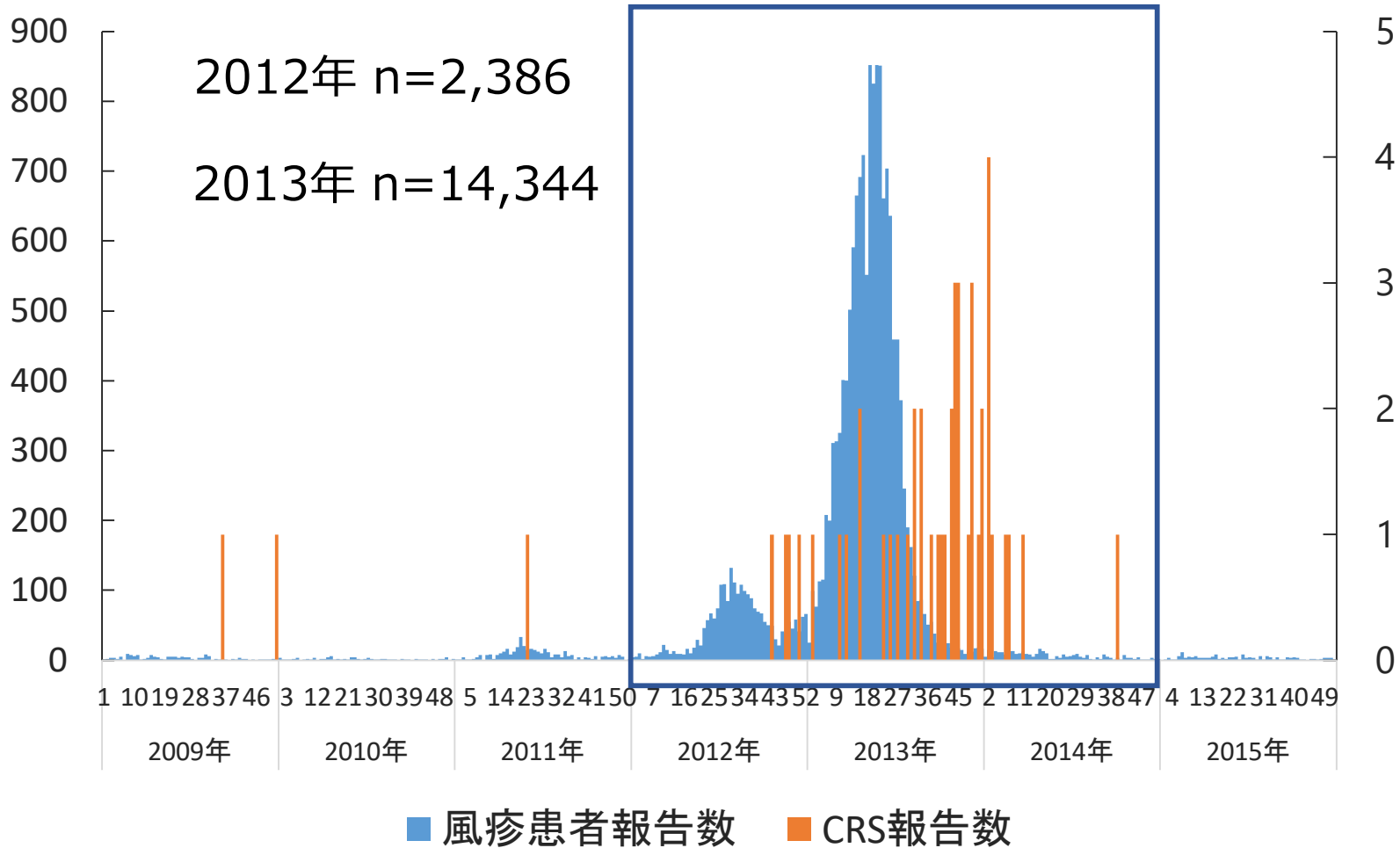
先天性風疹症候群（CRS）について

妊娠初期に風疹に罹患すると胎児に先天性の障害を引き起こす



2012年～2013年に多くの風疹患者が報告されました

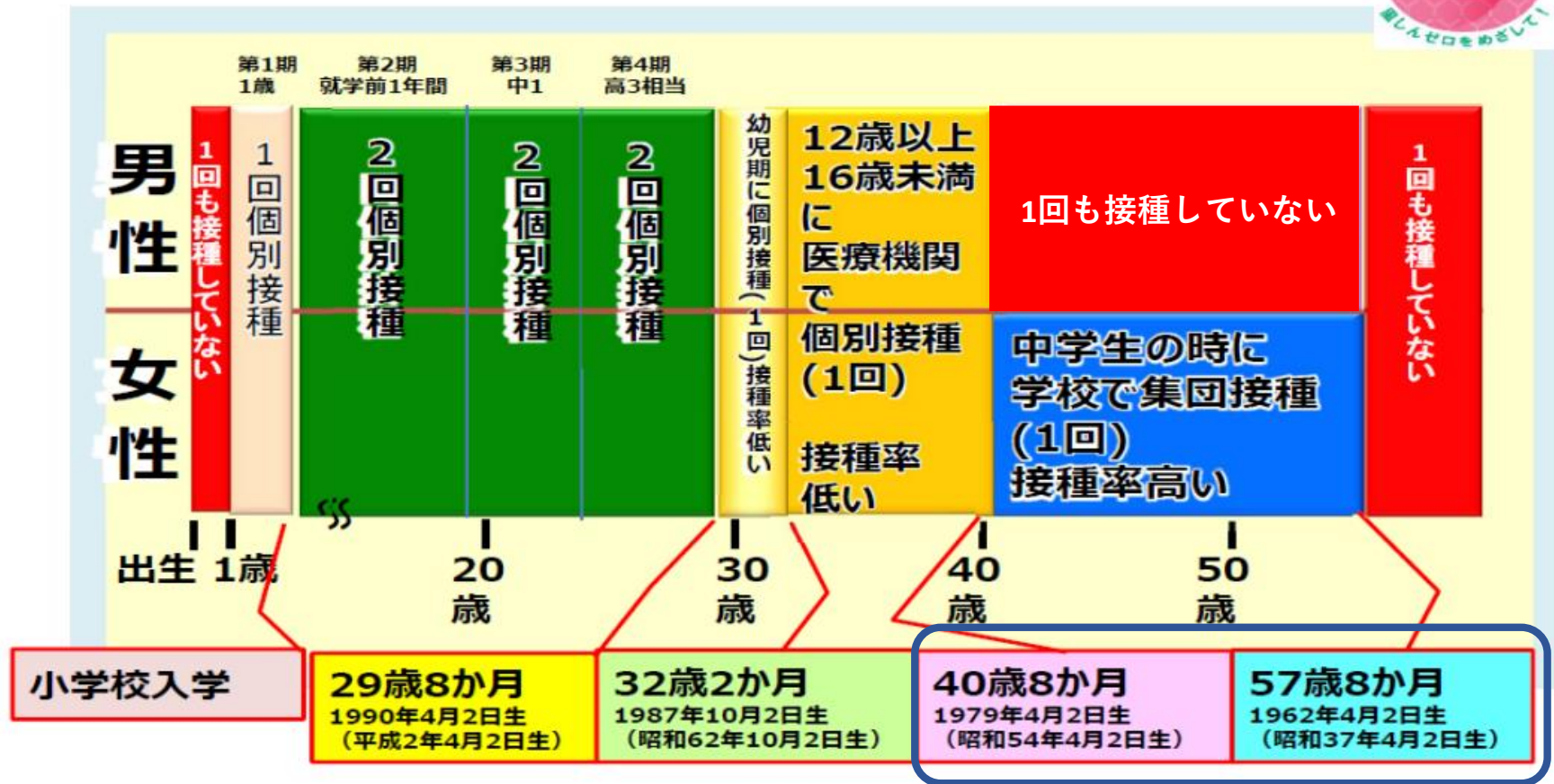
風疹患者報告数(人)



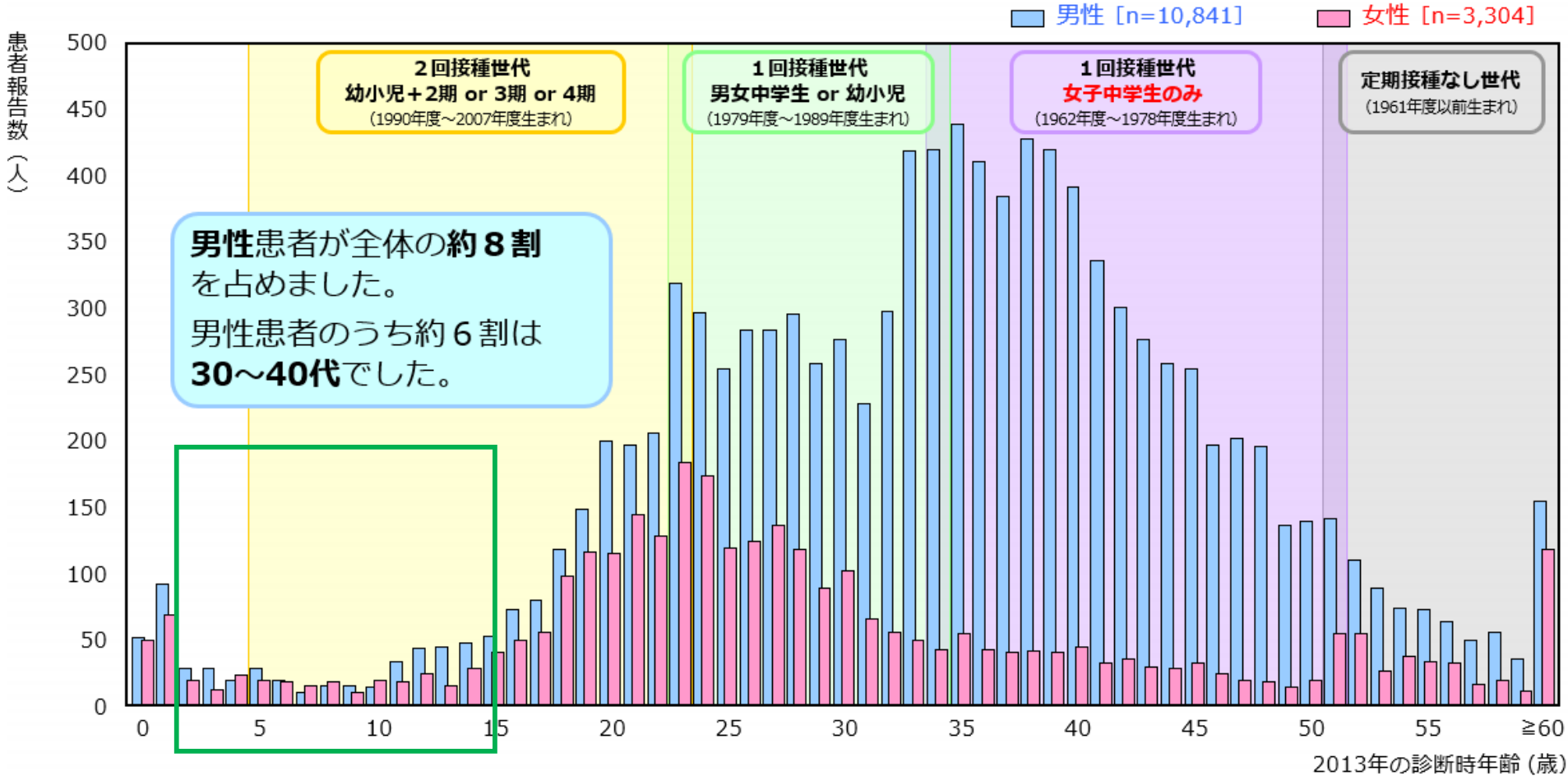
先天性風疹症候群患者報告数(人)

なぜ、風疹で成人男性が問題になるのか

風疹含有ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係
(令和元(2019)年12月1日時点)



風疹の性別・年齢別患者報告数（2013年第1～40週累積）

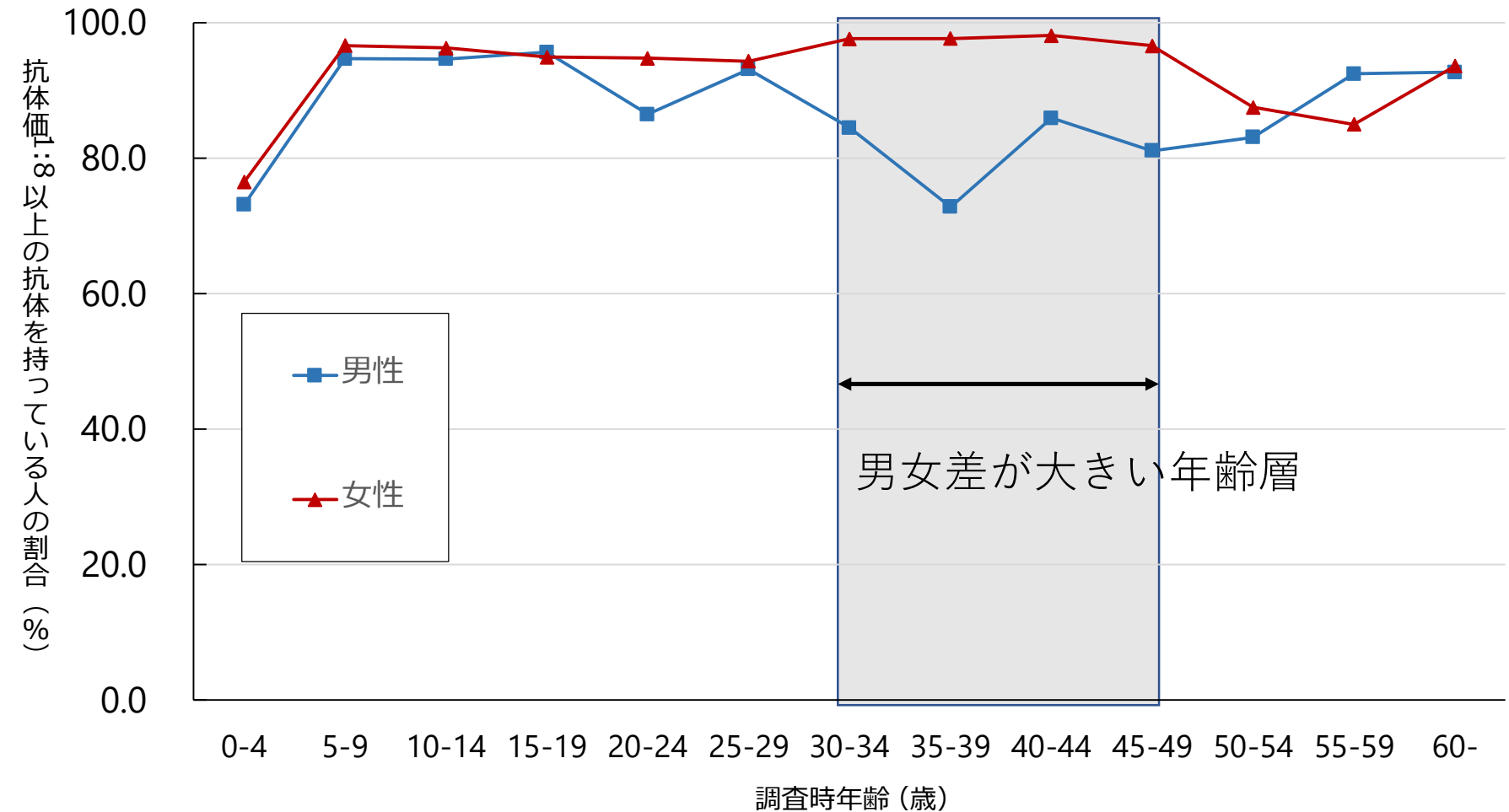


定期接種の重要性

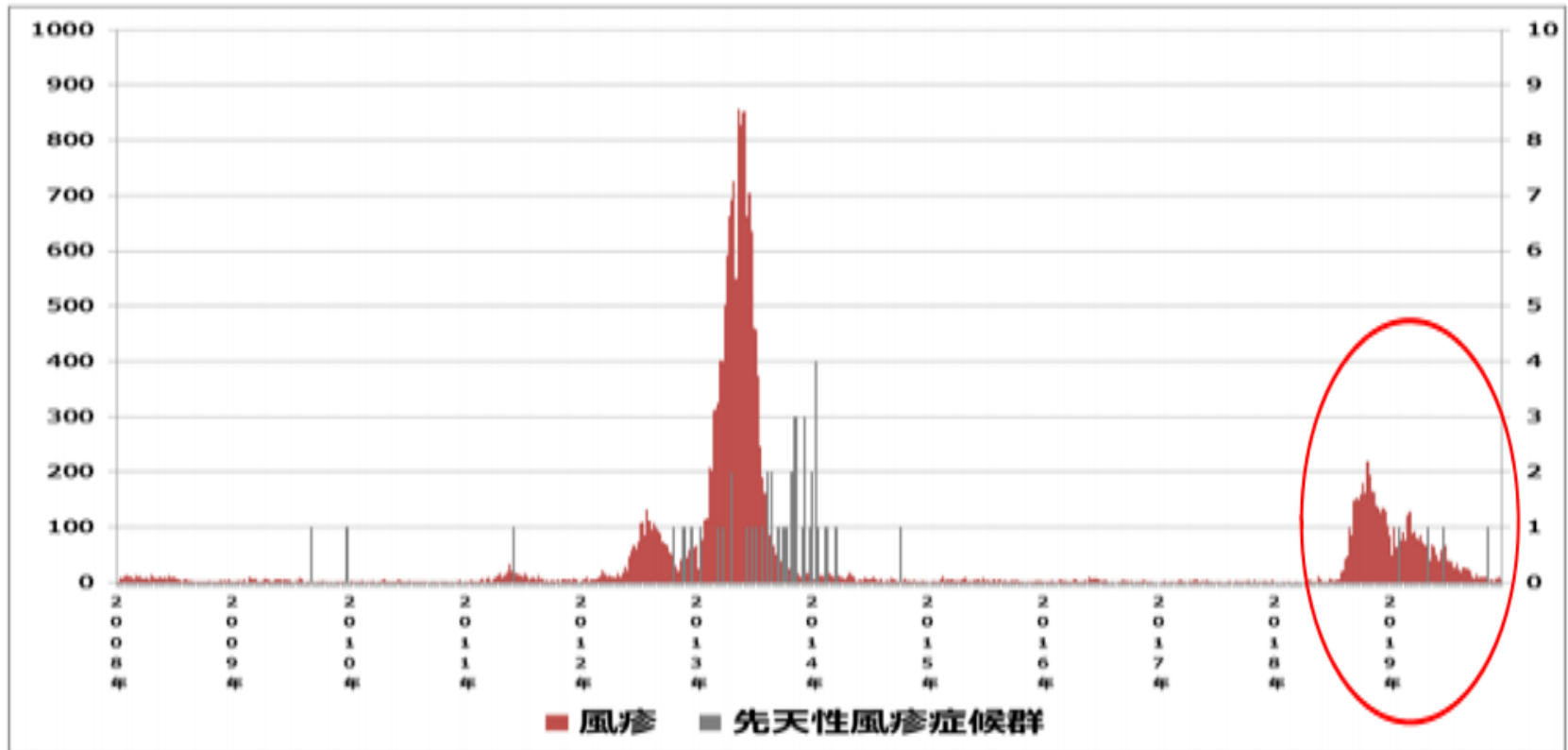
国立感染症研究所 感染症発生動向調査

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/survei/2270-idwr/nenpou/5281-syulist2013.html>

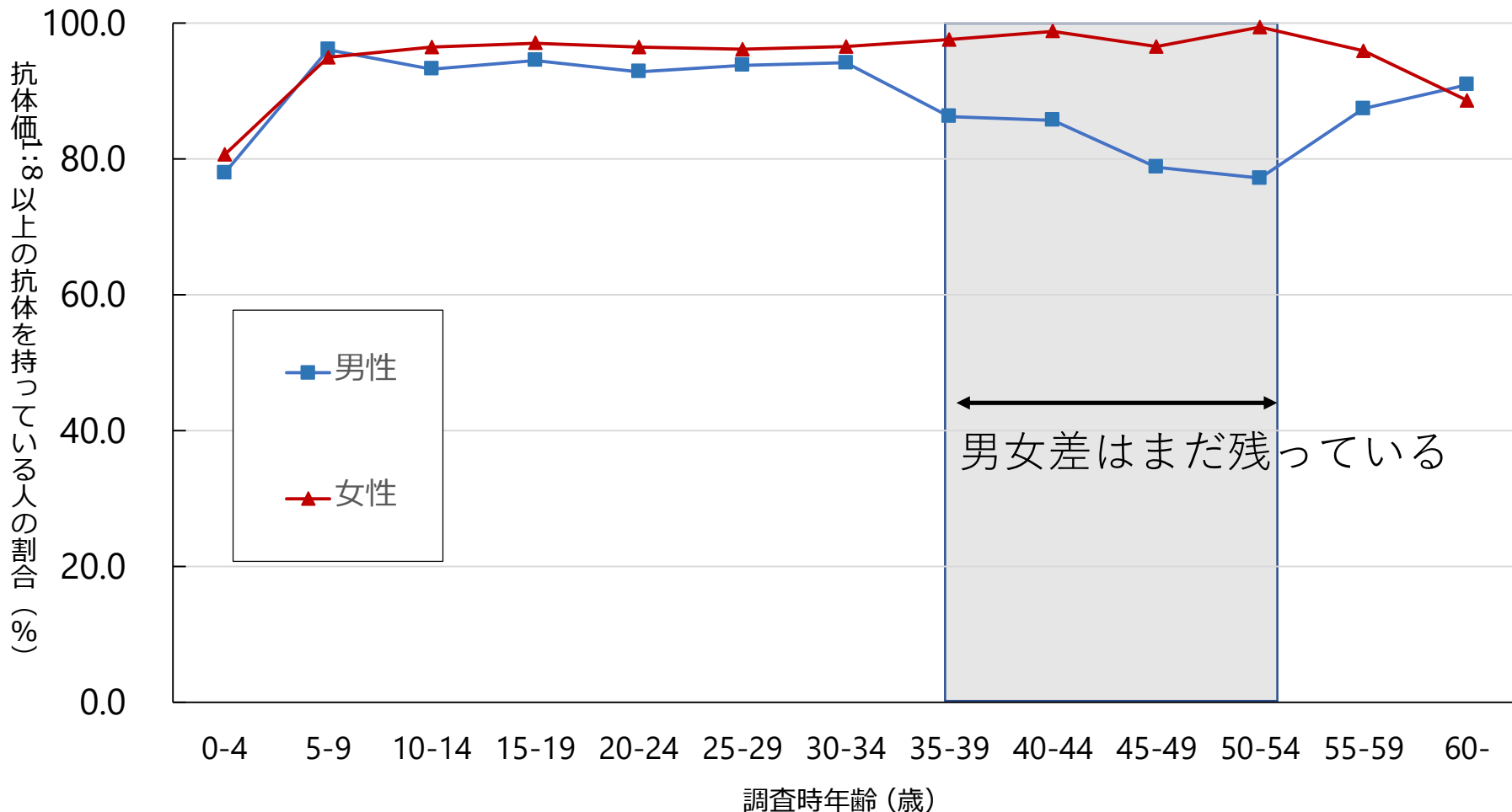
風疹の年齢群別抗体保有状況～2012年度～



風疹患者報告数の推移（2008年～2019年）



風疹の年齢群別抗体保有状況～2018年度～

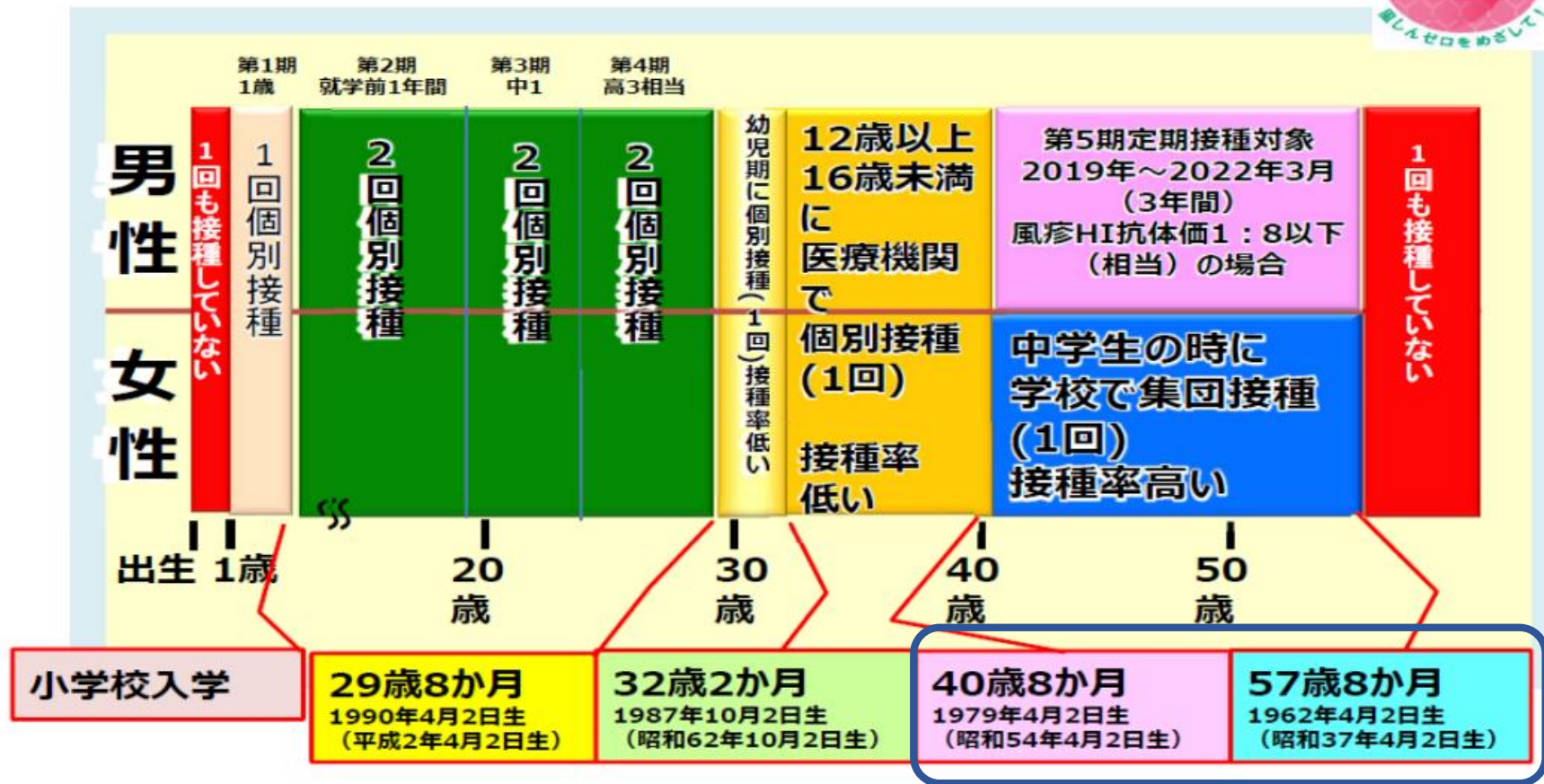


国立感染症研究所「2018年度感染症流行予測調査」から作図

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/y-graphs/8793-rubella-yosoku-serum2018.html>

第5期定期接種の開始

風疹含有ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係
(令和元(2019)年12月1日時点)



今、企業に風疹対策が求められるのは
なぜか？

成人風疹患者の感染原因・感染経路（2013年）

男性（20～60歳， 1761名^{*}）

*：発生動向調査に記載
があったもの

**：重複あり

✓職場関連：1,207例（**68.5%**）

（同僚から、職場で風疹患者と接触、など）

女性（20～60歳， 588名^{*}）

✓職場関連：207例（**35.2%**）

✓家族：197例^{**}（**33.5%**）

風疹の合併症

血小板減少性紫斑病 : 血を止める血小板が減り、出血しやすくなる
3,000～5,000人に1人

急性脳炎 : 脳に直接炎症を起こす
4,000～6,000人に1人

関節炎 : 関節の炎症、強い痛み
5～30%

風疹の合併症（2012～2013年）

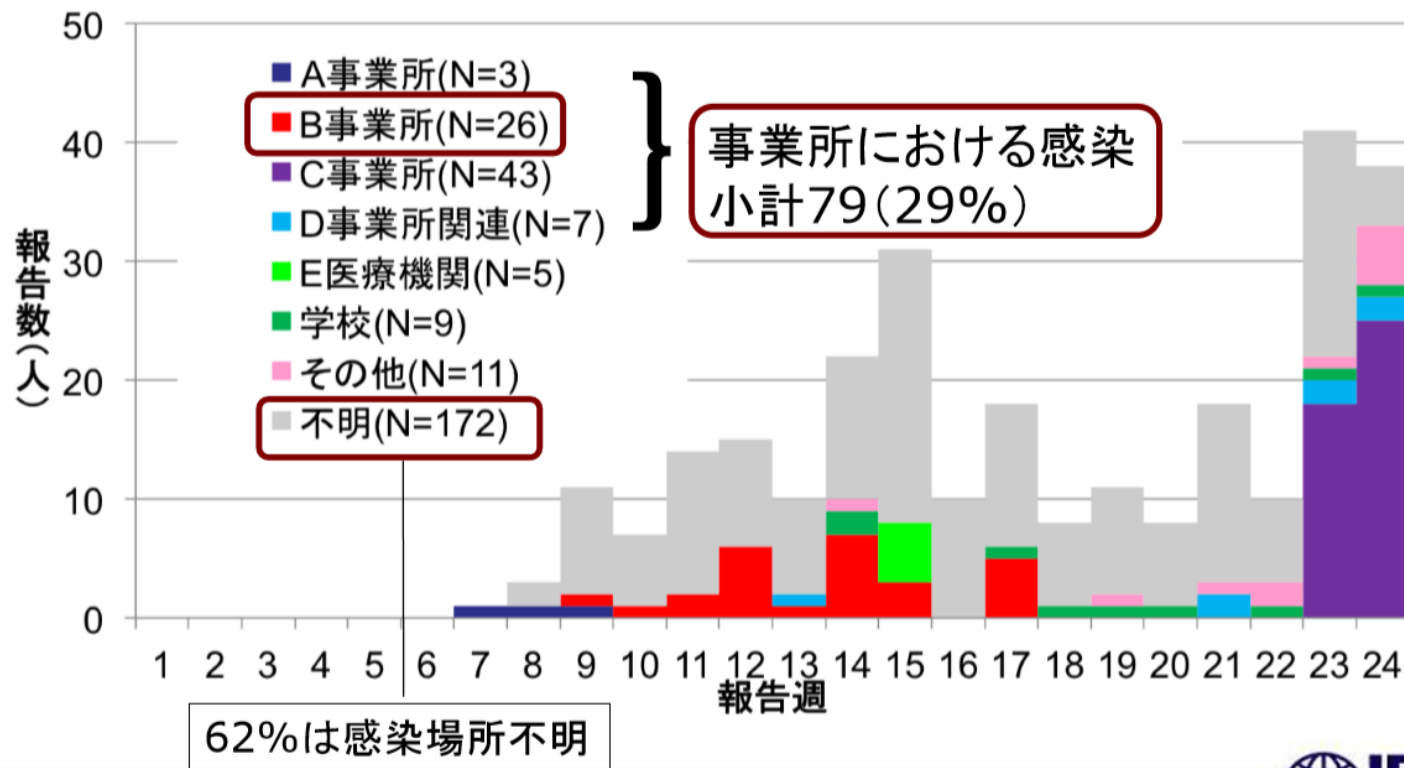
- 風しん脳炎： 2012年5人
2013年13人
- 血小板減少性紫斑病：
2012年13人
2013年64人

企業に関連した風疹事例①



National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center

川薩保健所管内風疹届け出症例 所属別発症日による流行曲線 (N=276)



参照：厚生労働省 厚生科学審議会（風しんに関する小委員会）資料

<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10601000-Daijinkanboukouseikagakuka-Kouseikagakuka/0000026979.pdf>

企業に関連した風疹事例①



National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center

B事業所の症例全体像・対策

- 疑い例を含む有症者:46例
 - 発症率:46/652(7%)
 - 医療機関受診者:45例
 - 医療機関で診断:35例
- 発生動向調査に届出されたB事業所の症例:26例

**報告症例数の1.8倍の風疹患者の発生が疑われた
医療機関での診断 > NESID報告**



参照：厚生労働省 厚生科学審議会（風しんに関する小委員会）資料

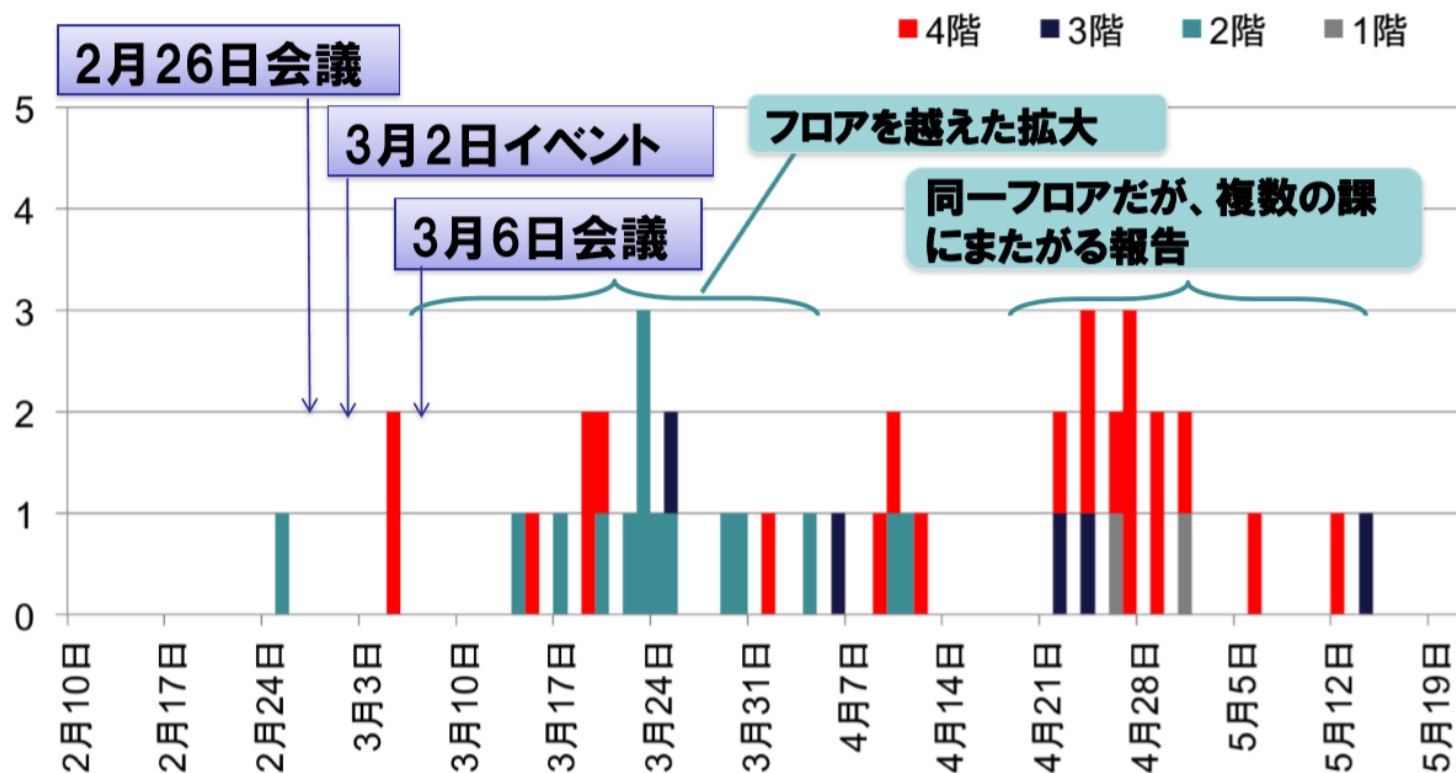
<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10601000-Daijinkanboukouseikagakuka-Kouseikagakuka/0000026979.pdf>

企業に関連した風疹事例①



National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center

B事業所疑い例発病日(N=44)



11週間にわたる流行



参照：厚生労働省 厚生科学審議会（風しんに関する小委員会）資料

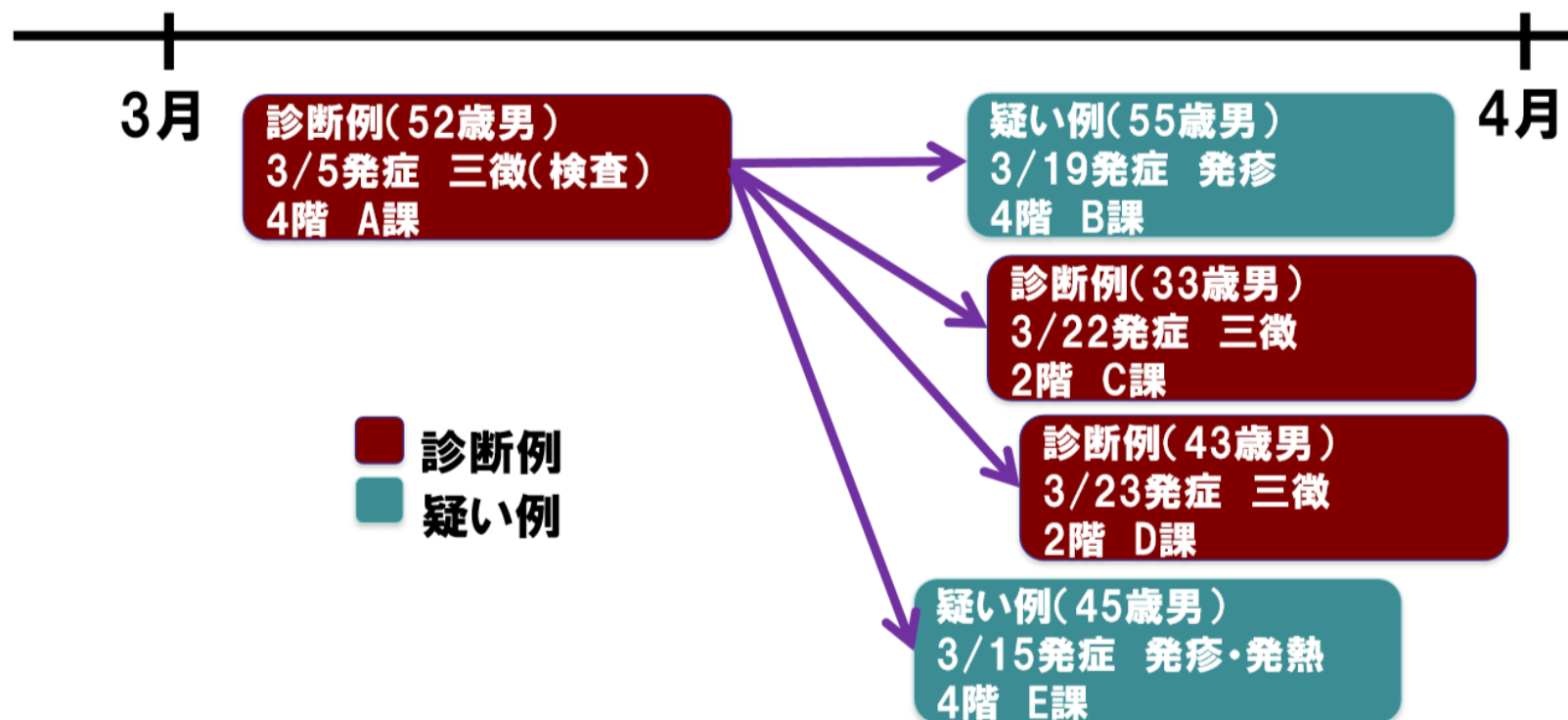
<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10601000-Daijinkanboukouseikagakuka-Kouseikagakuka/0000026979.pdf>

企業に関連した風疹事例①



National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center

3月6日会議に出席した症例間の フローを越えたリンク



参照：厚生労働省 厚生科学審議会（風しんに関する小委員会）資料

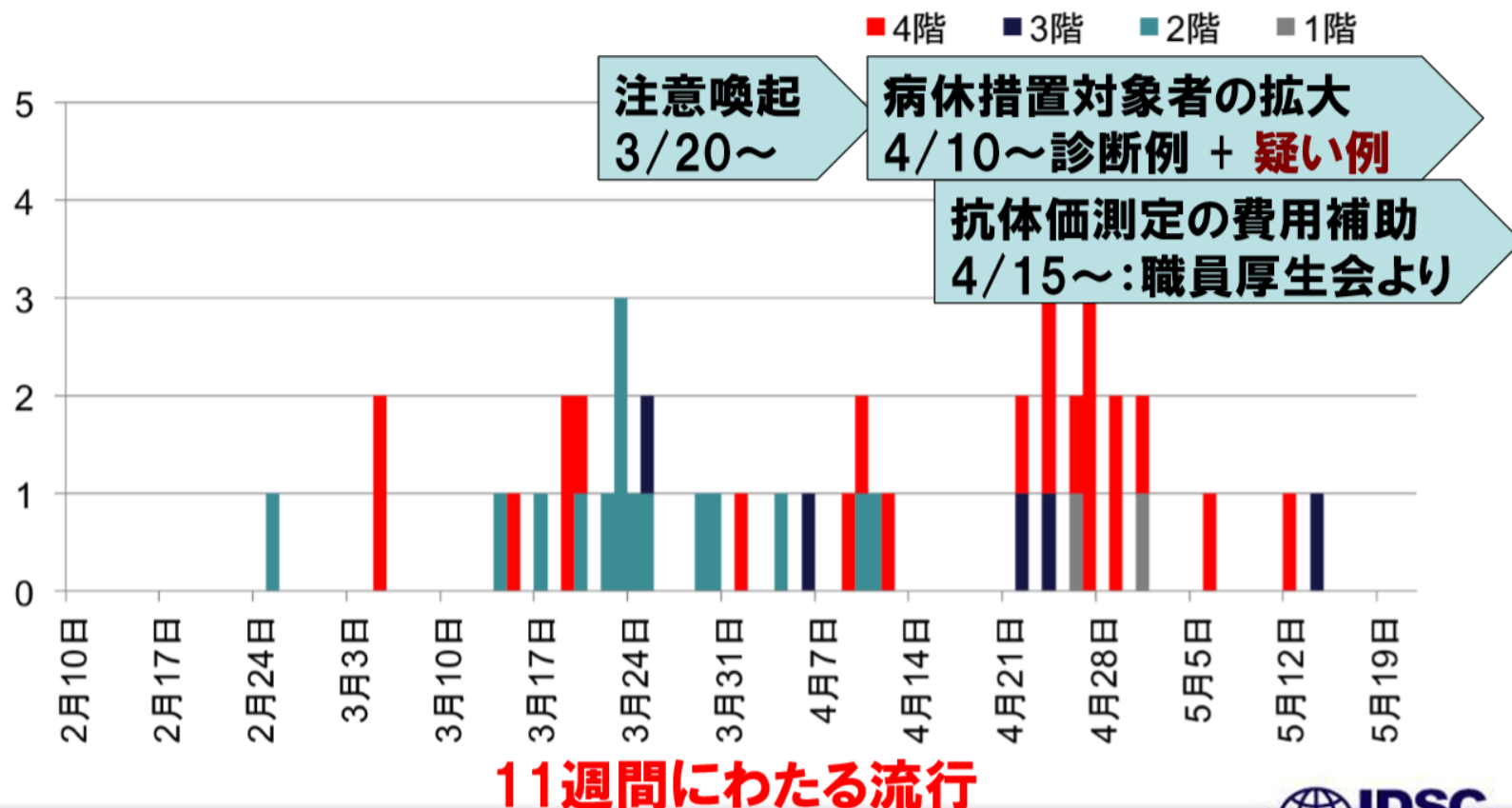
<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10601000-Daijinkanboukouseikagakuka-Kouseikagakuka/0000026979.pdf>

企業に関連した風疹事例①



National Institute of Infectious Diseases
Infectious Disease Surveillance Center

B事業所における対策



参照：厚生労働省 厚生科学審議会（風しんに関する小委員会）資料

<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10601000-Daijinkanboukouseikagakuka-Kouseikagakuka/0000026979.pdf>

企業に関連した風疹事例②

関係事業所概要

A事業所 : 日本国内に本社を含む3つの工場
海外に現地法人（タイ、インドネシア、中国）
本社工場の従業員は約1,000人

B事業所 : 部品製造メーカー
従業員数は約30人

C事業所 : 建設機械のレンタル事業
従業員数は約10人

企業に関連した風疹事例②

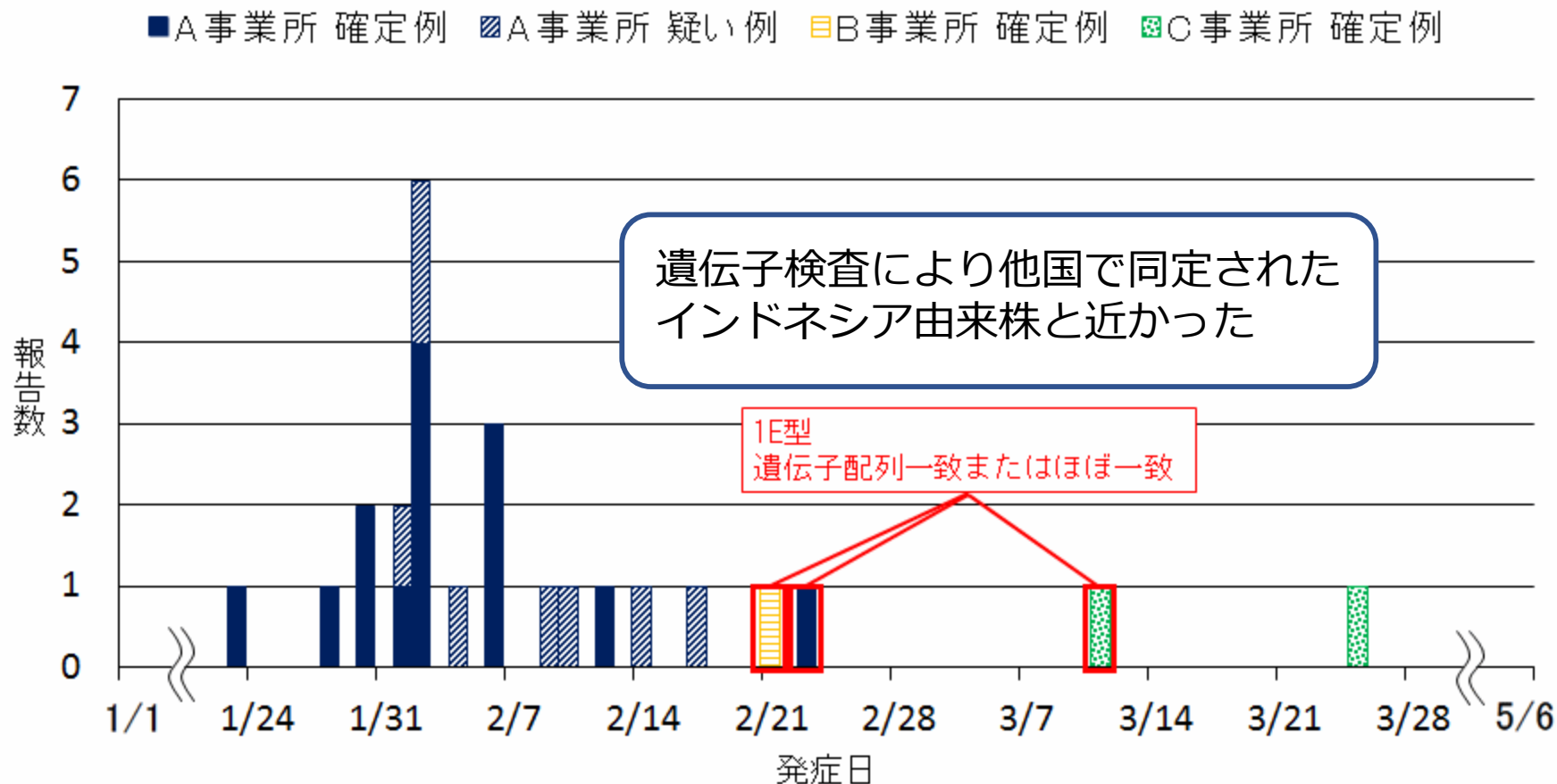


図. 事業所別風しん症例(2015/1/1～5/6 n=25)

企業に関連した風疹事例②

A事業所のための対策

- ✓ 症例・妊婦の把握
- ✓ 安全委員会の開催
- ✓ 有症状者の早期受診推奨
- ✓ ホームページ上での情報提供
- ✓ 麻しん風しん混合ワクチン緊急接種

県や管轄保健所と連携の上、迅速な対応がとられた

海外渡航時に検討される予防接種

【短期観光客向け】					
地域	Area	黄熱	A型肝炎	髄膜炎菌	麻しん 風しん
北アメリカ	Northern America				
カリブ	Caribbean		○		
中央アメリカ	Central America	●	○		
南アメリカ	South America	●	○		
中央アジア	Central Asia		○		
東アジア	Eastern Asia		○		
東南アジア	South-eastern Asia		○		
南アジア	Southern Asia		○		
西アジア	Western Asia		○		
豪州・ニュージーランド	Australia and New Zealand				
メラネシア	Melanesia				◎
ミクロネシア	Micronesia		○		○
ポリネシア	Polynesia				○
北アフリカ	Northern Africa	▲	○		
東アフリカ	Eastern Africa	●	○		
中央アフリカ	Middle Africa	●	○		
西アフリカ	Western Africa	●	○	○	
南アフリカ	Southern Africa		○		

海外勤務者にとっても
麻疹風疹ワクチンは非常に重要

風疹の排除目標は2020年です

風しんに関する特定感染症予防指針

第一 目標

早期に先天性風しん症候群の発生をなくすとともに、平成三十二年度までに風しんの排除を達成することを目標とする。なお、本指針における風しんの排除の定義は、麻しんの排除の定義に準じて、「適切なサーベイランス制度の下、土着株による感染が一年以上確認されないこと」とする。

職 場 に お け る

風しん

対策ガイドライン

日本ではインバウンドが注目されていますが



Centers for Disease Control and Prevention
CDC 24/7: Saving Lives, Protecting People™

[A-Z Index](#)

Search

x



Travelers' Health

[Travelers Health](#) > [Travel Notices](#) > [Rubella in Japan](#)



[Travelers Health](#)

[Destinations](#)

[Find a Clinic](#)

+

[Travel Notices](#)

-

[Rubella in Japan](#)

[Travel Advice and
Resources](#)

+

[Disease Directory](#)

+

Rubella in Japan

特に、妊婦への日本渡航注意喚起

Warning - Level 3, Avoid Nonessential Travel

Alert - Level 2, Practice Enhanced Precautions

Watch - Level 1, Practice Usual Precautions

Key Points

- There is an outbreak of rubella in Japan.
- Travelers to [Japan](#) should make sure they are vaccinated against rubella with the MMR (measles, mumps, and rubella) vaccine before travel.
- Rubella is very dangerous for a pregnant woman and her developing baby. Pregnant women who are not protected against rubella through either vaccination or previous rubella infection should

日本での風疹流行は海外からも強い関心が寄せられている

CDC Traveler's Health

<https://wwwnc.cdc.gov/travel/notices/alert/rubella-japan>

結語

- ✓ 妊娠初期の感染により引き起こされる先天性風疹症候群や、成人男性であっても風疹により重症化する症例があるなど風疹は決して軽視できない感染症である。
- ✓ 男性は女性と比較し、抗体を持っていない年代が残っており、集団でワクチン接種をおこなわない限り、風疹の流行は今後も繰り返される。
- ✓ 風疹の感染力は強く、職場内での風疹の広がりや、海外勤務者を端緒とした風疹の持ち込みの事例もみられる。
- ✓ 日本での風疹の流行は海外からも強く懸念されている。今後、インバウンドの増加を見込むのであればその対策は喫緊の課題である。